

ドーワテック製

ステンレスベルト フリーザー

性能・衛生・作業性でリード

道内納入68台の実績

新機種既に加工3社が導入



鈴木基良社長

連続ステンレスベルト式急速凍結機「ドーワコンテックフリーザー」で道内水産加工業界に多くの納入実績を持つドーワテック(株)本社・横浜、鈴木基良社長は昨年末に新型同機を発売、直後から道内業界でも注目され一月早々に一、二号機を、六月には三号機を相次いで納入した。従来機よりパワーアップ、効率化と衛生面を重視した新機種の特長と、ユーザーの声を紹介する。

「ドーワコンテックフリーザー」は平成元年に道内展開を開始し、昨年度までの納入実績は六十五台。新機種の発売で今年六月末までに六十八台に伸ばした。

「フリーザーの性能には自信があるが、それにあぐらをかいてしまえば、他社の追随を許してしまう。過去にそういう苦い経験もある」というのだ。同社はあらためてユーザーの声を徹底的に吸い上げ、新機種の開発に生かした。こうして誕生した「CTF-SA」の特長は第一に、食品を載せるステンレスベルトを下から液体で冷却する「フラインド結」と、食品の上から空冷する「エアブラスト凍結」の双方から「良いとこ取り」(鈴木社長)したところ、食品を上から空冷するエアクーラーの能力は従来機より一七%アップし、予冷時間は半分で済み、エアクーラーが目詰まりし能力低下の原因となる霜も付着しない、画

期的な構造。熱交換効率を飛躍的にアップさせ、凍結にかかる時間を短縮。例えばSサイズの玉冷の芯温をマイナス一八度に下げると従来機では十三分二十秒かかっていたのが、新機種では最悪でも十分二十秒。表面温度も従来機マイナス二五度に対して新機種はマイナス三六度まで下げられる。

結でき、生産効率も上がった。毎時五百kgの凍結能力を保ちながらコンパクト化も実現。トンネル長を従来機より二層短い十層とする事で、スペースの有効活用が可能になる。

ト洗浄機はスプレー式が標準仕様だが、オプションでブラシ式を選択することもできる。

第三に、新開発のブライン自動溶解装置を組み合わせたことで、ブライン(塩化カルシウム水溶液)の濃度調整が容易にできること。粒状の塩力を入れただけという手軽さが魅力。

そして操作はすべて、液晶タッチパネルを採用した制御盤で行える。操作性・視認性が飛躍的に向上するとともに、運転状況からトラブルの原因・対処法まで示す優れものだ。



ブラインとエアブラストの長所を掛け合わせた新型ドーワコンテックフリーザーSAタイプ



液晶タッチパネル採用で視認性・操作性が大幅に向上した制御盤

新開発のブライン自動溶解装置。スイッチ一つで濃度調整が簡単に行える

凍結時間大幅に短縮/鮮度保持高い効果/高い完成度

村太二工場長の話 ホタテ貝柱の冷凍作業に使用しているが、凍結時間が従来の十五、六分から十二分に短縮できる。しかも製品の表面温度が従来のマイナス二〇〜二四度から同三〜三六度まで下がることで、色の変化がなく、解凍しても自然な色を保つことができる。鮮度保持に高い効果が期待できる。

実績と信頼で4台目も/アフターも安心/使いやすい

利波英樹社長の話 四台目のコンテックフリーザーを導入。過去三台の実績と信頼が選択の決め手。その都度ステップアップしている。新機種ではブライン管理が自動化されたので非常に楽になった。エアブラの良いたとも取り入れており凍結能力がアップ、厚みのある製品やトレーものにも対応できる。

同・富野秀和上機工場長の話 凍結速度がアップした完成度の高い機種だ。イカやタコの空揚げ

ユーザー3社の声



菊地雅之社長



利波英樹社長



金田雄二課長

用製品を凍結すると粉が飛び、掃除がやっかいたが、新機種は洗浄もしやすきれいに落ちる。ブライン管理の自動化も大きな特長だ。アフターサービスも迅速で安心している。

同・金田雄二上機工場製造課長の話 エアクーラーに〇・七五ワット軸流ファンを採用しパワーアップ。ブライン凍結との相乗効果で、原料の鮮度を落とさず速く凍結できる。霜が付かずトラブル知らずだ。

(有)タキヤマイチ菊地水産(株) 菊地雅之社長の話 六月、三台目の導入。ホタテの玉冷とホイル冷凍に使っている。冷却ベルトと接触する面積が広い玉冷にはブライン凍結が良いが、ホイルには空冷も必要。両方に対応できる機種だ。故障がなく使いやすい。使い勝手が良いことは一、二号機で実感している。スクレーパーの取り外し洗浄が可能になるなど今回さらに改善され、衛生面でも能力面でも二倍、三倍アップした。

「週刊水産新聞」 平成16年(2004年)7月19日 第320号(毎週月曜日発行) 発行人/鈴木道康 発行所/株式会社水産新聞社 〒060-0061 札幌市中央区南一条西8丁目9番地1 エコネットビル5階 電話(011)210-5073 FAX(011)210-0947 年間購読料/前払 28,200円(消費税・新聞送料込み) 後払 29,700円(消費税・新聞送料込み)

DOHWA

ドーワテック株式会社

DOHWA TECH CO., LTD.

■三島本部/〒411-0042 静岡県三島市平成台21
TEL (055) 988-8281 FAX (055) 988-8285
E-mail mishima@dohwatech.co.jp http://www.dohwatech.co.jp/
■本社/〒224-0053 横浜市都筑区池辺町4407